

地域みんなで「気づく、つながる、支え合う」 地域福祉懇談会 地域の方総結集

自治協 ニュース

第0407号
発行者
八本松住民自治協議会
R04. 11. 25



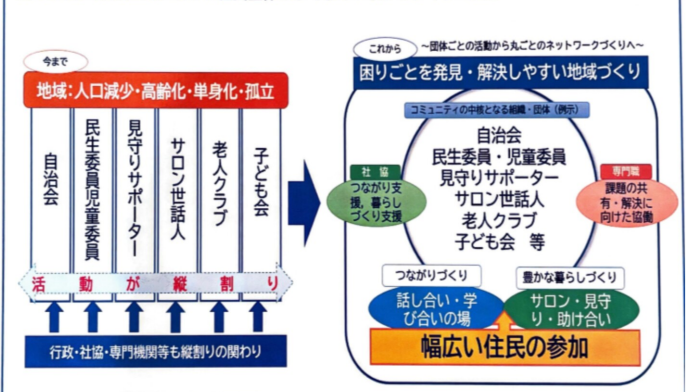
各地域から参集された自治会長、防災会長、民生委員、福祉会長、見守り員の方々。

東広島市社会福祉協議会は11月19日(土)八本松住民自治協議会(会長 土久岡章治)各地域で自治会、防災会、民生委員、見守り隊などの役割を担って頂いている方を集め、それぞれの地域福祉を考える「地域懇談会」を開催した。

この地域懇

談会は、これまで地域課題に対し個別に活動してきた自治会長、民生委員、自主防災会長、小学校登下校見守り隊などを対象に会合に参集。会の冒頭、社会福祉協議会が策定した「第4次地域福祉活動計画」推進目標の1つとして「自治会域における住民主体のふくしのつながりづくりの推進」を掲げ、それぞれが困り事を持ち寄り、一緒に解決して行くことが今後

【推進目標1】自治会域における住民主体のふくしのつながりづくりの推進



の福祉活動で重要である旨が説明された。すでに先進的な事例として活動されている八本松中央自治会(会長 常光聡)では自治会、自主防災会、地区社協、民生委員が上下関係無く、横並びで活動。一例としてサロン活動へ自治会が積極的に支援している事や、災害時避難行動要支援者、独居高齢者への定期訪問に民生委員だけでなく、自治会長、地区社協、自主防災会が同行するなど事例が説明された。

若年層、高齢者の世代間分断の解消、活動衰退への歯止め対策などが課題として挙がっていた。又、増加の一途をたどる高齢者への支援は法的に守秘義務が課せられている(民生委員法15条 民生委員)だけでなく、見守りサポーター制度があるとはいえず、人員不足は否めない。貴重な地域人員資源を有効活用するにはやはり今回出席した自治会、地区社協、防災会などの積極的な支援や地域住民との連携は必要不可欠といえる。

これを踏まえて行われた各グループ別のディスカッションではお互いに地域課題に向き合い、解決に向けた方向性が話し合われた。地域の役割や見守り、福祉会、自治会などを担う人材不足や子供、

地域の交通安全に寄与 五月に続き地域貢献

八本松住民自治協議会(会長 土久岡章治)は10月30日(日)、フジタ道路株式会社広島支店(広島県広島市)へ備品贈呈での地域貢献に対し同社に感謝状を授与した。



車載スピーカー付き車両(写真右上)は災害など緊急連絡に備え設置

今年度5月に続く今年度2回目のフジタ道路(株)の地域貢献。今回は安芸バイパス道路舗装工事に携わる事となり、再度地域貢献の申し出があった。寄贈された備品は通学路に設置する交通安全を啓発する幟旗、車載可能なアンプ付き

フジタ道路(株) 幟旗、車載スピーカー、ビブス贈呈

スピーカー、さらには地域で使用されている蛍光テープ付きビブスの計20万円相当になった。土久岡会長は「誠にありがたく、有効に活用させていただきます。今後のご繁栄を祈念します」と感謝状を手渡した。

長年地域福祉活動に大きな貢献

社会福祉団体役員功労者 表彰 第24回東広島健康福祉まつり



前2列目右より中央自治会常光会長、高橋福祉会長、南区景山福祉副会長、横井防災会長、佐々木氏

東広島市社会福祉協議会(会長 松尾祐介)は11月6日(日)東広島健康福祉まつりを開催。プログラム冒頭にて令和4年度東広島市社会福祉協議会表彰が行われ、八本松中央自治会から常光自治会長を含め7名、八本松南区自治会から横井國興、景山 晟両氏、八本松北、宗吉東区

令和4年度 東広島市社会福祉協議会表彰者

氏名	地区名
高山 徹	八本松中央
高橋 哲	
常光 聡	
高橋 洋子	
川本 圭三	
吉見 洋司	
佐々木 孝文	松風ハイフ/宗吉東区/八本松北担当
佐々木 満江	
横井 國興	八本松南
景山 晟	

表彰者一覧表

者表れがわ福長対の8しての福内労体会場れたが表彰一、た。表っ祉年象在年して役祉の者役福た。表彰覧表。彰たに地で籍以功績と体区市功団社参彰右さ事携域、が上、

の一部及び松風ハイツ担当民生委員の佐々木 満江氏の計10名

アルミ缶協会 一般回収協力者賞受賞

～事業継承～ 受け継がれてきた「つながり」

表彰式ではアルミ缶協会 中島氏は「資源回収、環境改善にご尽力頂きありがとうございます」と述べ、地域を代表し、八本松中央地区社会福祉協議会 高橋会長に表彰状、記念品を授与した。一般回収団体は主に、自治会、PTA、社会福祉法人などが受賞しており、2013年以降、広島県で自治会単体が受賞す



賞状、記念品を受け取る高橋中央地区社協会長(右)

八本松中央自治会(会長 常光聡)はアルミ缶リサイクル協会(東京都豊島区)よりアルミ缶一般回収協力者表彰の優秀団体に選出され、10月30日、表彰式が八本松集会所で行われた。

2021年の1年間でおよそアルミ缶6万3千本相当の回収量になった。八本松中央地区でのアルミ缶回収は「中央あやめ会」が開始し、あやめ会の方が高年齢となっ中央地区の社会福祉協議会が受け継

るのは初めて。毎月第4日曜日に早朝から地域内で集められた空き缶、ダンボールを回収。班長、自治会役員総出で空き缶はアルミ缶、スチール缶、瓶、ペットボトルなどに分別、その後缶内のタバコ吸い殻、飲み残し等を取り出し、フレコンバッグに回収されている。



移動式クレーンでアルミ缶の入ったフレコンバッグを積み込む



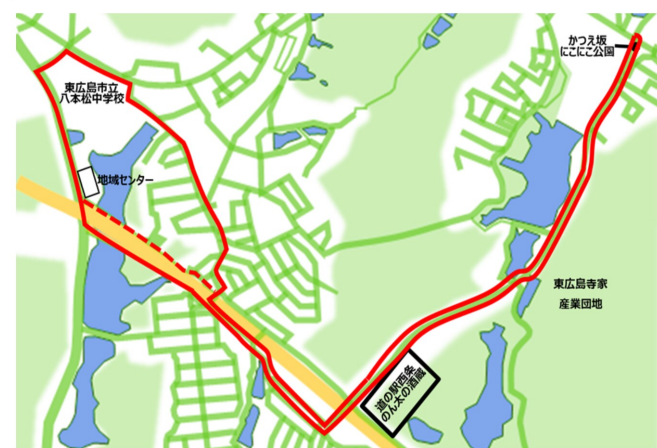
収益の一部で購入された神輿 右…あやめ会購入、左…地区社協購入

ぎ、現在の中央自治会に至っている。収益の一部は秋祭りで使用する神輿に使われ、2基の神輿が秋祭り地域内を練り歩く。(近年はコロナ禍で中止) 次年度以降は大曾場自治会(現在 原自治協議会)も加入するため、もう1基神輿の購入を計画している。

第1回 八本松ウォーキングイベント「八本松を歩こう」開催



2022年11月13日(日)に八本松住民自治協議会体育振興部会(部会長 中曾義孝)主催のウォーキングイベント「八本松を歩こう」が開催されました。このイベントの目的は、歩くことで地域の新たな発見と住民の心身の健全です。



当日は、小雨が降ったりやんだりの天候にもかかわらず、多くの家族連れや友だち同士の参加で和やかなイベントとなりました。朝8時30分。住民自治協議会土久岡会長の発声で先導者が幟を掲げスタートしました。各自が長いコース(8km)か短いコース(4.8km)を選び、4ヶ所のチェックポイントで可愛いスタンプを集めて、ゴールの地域センターを目指しました。紅葉を眺め、楽しそうに歩かれています。光景は印象的でした。横断歩道での横断誘導、チェックポイントでの押印、青パト隊による巡回等、他の部会や小学校PTAなどのご協力もあり、参加者・スタッフあわせて128名で無事終了しました。

皆様のお声をお寄せ下さい 八本松住民自治協議会事務局 八本松地域センター内 Tel・Fax 082(428)3061 当協議会スタッフは常勤でないためご返事が遅くなる場合があります。

大曾場地区編入正式承認 規約改定、評議委員定数削減も

防犯・交通部会新設

八本松住民自治協議会（以下、自治協会長 土久岡章治）は11月5日（土）臨時総会を開催。

2号議案では原自治協議会 大曾場地区の八本松中央地区への編入が可決された。

今回の大曾場地区の編入で中央自治会の世帯数が増え、自治協全体世帯数は令和5年度より38837世帯となる。この他規約改定では防犯・交通部会を新設。

臨時総会 決議内容	
議案名	主な内容
第1号議案 規約改定	防犯・交通部会新設「委員会(防災、福祉、環境)を「部会」に名称統一
第2号議案 大曾場自治会編入	原自治協議会所属の大曾場自治会を自治協 八本松中央自治会へ編入
第3号議案 役員及び評議委員定数	同左

いずれも賛成多数で可決

また、評議委員定数を総会参加人数が少ない事が主要因となり、120から70名前に削減する議案が可決された。各部会で評議委員を選出してもらう形となり、評議委員でなくなる方も出てくる。評議委員削減案に際し、土久岡会長は「お一人お一人の意見を大切にしながらという原則を持って、小さな声であろうとも、協議会に吸い上げ、議論しながらのよい活動に繋がっていく」という考えを示した。

環境対策委員会

映画「穏やかな革命」上映会

八本松住民自治協議会 環境対策委員会（会長 小池恵美子）は環境を考える映画上映会を開催。「穏やかな革命」の上映会を開催した。

この映画ではそれぞれの地域で地方産業の衰退、人口の減少を食い止め、新規に移住してきた住民や、先祖代々から居住する住民が、地域資源を生かし、持続可能な事業を地域住民の同意を得ながら共に事業展開していく様子をドキュメンタリー方式でまとめられた映画。本作品では、現在様々な物が容易に手に入る。生活する上での「豊かさ」、「安さ」、「便利さ」がある一方、の円安、物価変動、国際情勢など、外的要因の影響を受けやすい。これからはこれら要因を受けにくく、持続可能な事業で形成されたサービス、商品、消費行動を「選択する」といった考えが大切になるのではないかと考えさせられる作品であった。又、映画のような事業は出来ずとも、様々な行

この映画ではそれぞれの地域で地方産業の衰退、人口の減少を食い止め、新規に移住してきた住民や、先祖代々から居住する住民が、地域資源を生かし、持続可能な事業を地域住民の同意を得ながら共に事業展開していく様子をドキュメンタリー方式でまとめられた映画。本作品では、現在様々な物が容易に手に入る。生活する上での「豊かさ」、「安さ」、「便利さ」がある一方、の円安、物価変動、国際情勢など、外的要因の影響を受けやすい。これからはこれら要因を受けにくく、持続可能な事業で形成されたサービス、商品、消費行動を「選択する」といった考えが大切になるのではないかと考えさせられる作品であった。又、映画のような事業は出来ずとも、様々な行

地区	特徴、課題	展開事業	結果
福島 会津若松/飯館	震災、原発事故による産業衰退、人口減少	・太陽光発電事業 会津電力一飯館電力に波及。 ・飯館では農地にソーラーパネルを設置する ソーラーシェアリング事業展開	農地を守りながら自然に優しいエネルギー資源利用
岐阜 郡上市石徹白	主要産業が無く、人口減少	・過去に農業用に引水された水路を利用し水力発電事業展開。 ・さらに地域資源「野良肴」を利用した縫製商品販売。	地区電力を賤い、新規移住者獲得。
秋田県にかほ市	日本海側都市。 人口減少、少子高齢化	・海岸に面した土地利用で風力発電事業展開。 ・出資者は都内「生活クラブ」。収益の一部で 地場商品の開発販売。	出資者「生活クラブ」で販売、収益還元 出資者と地域住民の交流活性化
岡山県西栗倉村	林業衰退、 人口減少、少子高齢化	・周辺都市との合併拒否、林業を生かし、 「100年の森構想」展開。 ・通常の製材販売に加え、廃材新ボイラーで 近隣温泉施設に使用。 ・間伐作業者に地域クーポン券で飲食などに還元。	新規移住者獲得。 ベンチャー起業スクール展開。

登場地域の展開事業と波及効果



上映後挨拶する小池委員長(左)、上映前の様子(右)。

事を通じ、地域住民同士の「つながり」が形成されるところは学ぶべき点であった。

煙体験防災訓練

八本松西自主防災会 煙の中の移動を体験

八本松西自主防災会（会長 西村正三）は11月6日 日宗吉第一集会所にて煙体験をメインとした防災訓練を開催。集会所和室を利用し、用意された煙の充満した部屋を移動する訓練を実施した。

市消防署 西分署の協力で和室に用意された煙体験の部屋を参加者は数多のグループに別れ室内に入り、障害物を避けながら低姿勢で移動。

煙が充満し、数センチ先が全く見えない室内を体験した。煙体験の子連れ参加者は「子どもが怖がっていたが、泣かずに良い体験が出来た」、年配の方は「足の悪い高齢者は実際にはどうすることも出来ない」などの感想を話された。

この他、市消防署による東日本大震災から教訓を得た「災害の備えと意識10か条」を映像を見ながら確認。まず自動として個人、家族で取り組める備えの解説

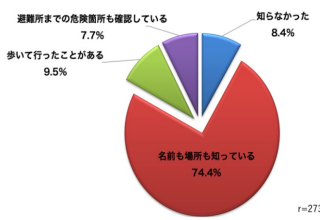


煙発生前(右)、訓練終了直後(左) 同じ位置から撮影

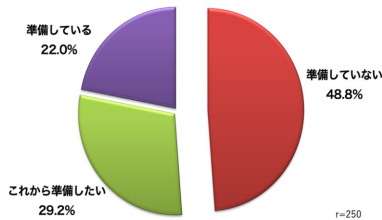
動画、消防署員の講義を受講した。さらに事前に実施されたアンケート結果では構成世帯や避難所の認識や避難グッズな

どの防災意識について調査。発災時の復旧作業参加意識、避難場所認識及び移動ルートの認識が高い一方、備蓄をされている世帯については2割前後となっている。

避難所を地域センターだと知っているか？



防災用の備蓄を日頃からしているか？



「子ども安全の日」パトロール

地域の子どもは地域で守る!! 子どもを巻き込む犯罪は許さないぞ!!

八本松住民自治協議会（以下、自治協 会長 土久岡章治）、青少年育成部会（部会長 中森幸恵）は11月18日朝、子ども安全の日（22日）に合わせ、通学時間帯に合わせ小学校区一斉に防犯パトロールを行った。

朝の小学校児童通学の時間帯に合わせ、見守り隊、おやじの会、PTAなどの地域総出で児童と一緒に小学校まで歩いた。

小学校に到着した見守り隊、地域巡回を終えた青パト隊車両12台が一同に集合した。総勢約60名はセレモニーに参加。冒頭、自治協 土久岡会長は「日頃地域の見守り隊、学童交通班、青パト隊、女性会、それから交通安全協会の皆様方には多大なるご支援を賜り、この場をお借りして心より厚くお礼を申し上げます。

自治協も来年は新たに防犯交通部会を発足させ、地域の安全安心をモットーに活動して参ります。又、交通面では宗吉溝迫交差点に横断歩道橋を設置頂くため、国交省中国整備局において御検討いた

だいています。これからも自然災害対応、地域の治安維持、交通事故の撲滅に強い地域を目指して尽力をしてまいります。」と挨拶を述べた。

自治協も来年は新たに防犯交通部会を発足させ、地域の安全安心をモットーに活動して参ります。又、交通面では宗吉溝迫交差点に横断歩道橋を設置頂くため、国交省中国整備局において御検討いた



スローガン(上記)を唱和する参加者の皆さん